



追悼 理事長 漆邦臣先生

理事長の漆邦臣先生がご逝去されたのを惜しみ、邦臣先生に先生おすすめブックリストでご紹介いただいた本とご著書の展示をしています。

おすすめブックリストは、1999 年の開始から今年度分まで 18 冊の紹介文とともに置いています。ぜひ思いの詰まった紹介文を読みに来てください。展示中の本はもちろん借りられます。



品女の入試で出た本

第一回入試

『クマゼミから温暖化を考える』沼田英治：著／岩波書店（岩波ジュニア新書）

『櫻を、君に。』蓮見恭子：著／光文社

第二回入試

『食の人類史』佐藤洋一郎：著／中央公論新社（中公新書）

『遠野奇譚』藍沢羽衣：著／エネルギーフォーラム

第三回入試

『ミライの授業』瀧本哲史：著／講談社

すべて図書室に蔵書、もしくは発注中の本です。気になった人はぜひ！



直木賞・芥川賞が決定しました☆

第 156 回直木賞・芥川賞の受賞作品、図書室にも入っています！



直木賞 [913/才] 『蜜蜂と遠雷』恩田陸：著／幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とする自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン……。ピアノコンクールを舞台にして、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像。



芥川賞 [913/ヤ] 『しんせかい』山下澄人：著／新潮社

19 歳の山下スミトは演劇塾で学ぶため、北を目指す。辿り着いた先の〈谷〉では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいて……。

図書委員おすすめ本



[913/ナ] 『教団 X』中村文則：著／集英社

この本はかなり物語が長くて本自体も非常に分厚い。主人公の樽崎が付き合っていた女性である立花がある日から行方が分からなくなったことを不審に思い、辿り着いたのが松尾という教祖が率いる怪しげな宗教団体だった。怪しいと思っていたが、実は妙にポップなキャラクターの人達が集まったいい加減な宗教団体で、教祖ともかなり砕けた関係である。そんな団体の人物によると、立花はこの団体にいたのだが「教団 X」の教徒でもあり、この団体を詐欺に合わせたあと姿を消したらしい。そして樽崎が実際に松尾に会おうとしたとき、「教団 X」からの使者が樽崎へ送られる。樽崎は危険だとは知りながらもずるずると事件へ巻き込まれる。

3E O

検索中の本

『コンビニ人間』村田沙耶香：著／文藝春秋

『公開処刑人森のくまさん』堀内公太郎：著／宝島社（宝島社文庫）

『いじめ 心の中がのぞけたら』本山理咲：著／朝日学生新聞社



夏休みの蔵書点検以降に行方が分からなくなっている本です。

読みたい生徒がいるので探しています。

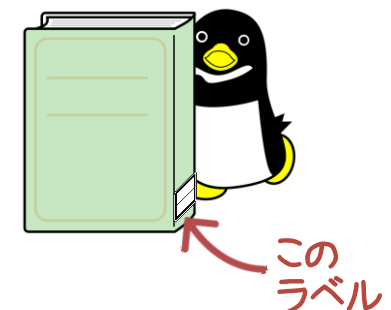
もし手元に持っている人がいたら、貸出する時に処理がうまくいかなかった可能性があります。

返却するか、もう 1 度、貸出の手続きをお願いします。

* 図書室の本は背に番号の書かれたラベルが貼ってあります。

この番号は本の住所のようなものです。図書室の本はこの番号順に並べられているので、たくさんの中の中から読みたい 1 冊をすぐに見つけることができます。そのため、適当な場所に入れてしまうと、図書室内でも行方が分からなくなってしまいます。もし本を戻す場所が分からなくなったら、司書へ渡してください。よろしくお願いします。

* 教室などに誰が借りたか分からない本があったら、図書室まで返却をお願いします。ブックポストに入れても構いません。



このラベル！

貸出人気本ランキング (2016.04.01~12.31)

1 位 [913/ア] 『植物図鑑』有川浩：著／KADOKAWA

2 位 文庫[913/ナ] 『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』七月隆文：著／宝島社

3 位 [913/ミ] 『高校入試』湊かなえ：著／KADOKAWA

『植物図鑑』は単行本と文庫があります！

